

ビワ生育情報

第 4 報
千葉県農林水産部
令和4年1月号

本年の開花は、11月～12月の平均気温が高かった影響から、3品種とも平年より早く進んでいます。

【花房及び樹の発育】

ビワの開花期は表1に示した。暖地園芸研究所の開花始期は、「楠」が11月2日で、平年より6日、前年より8日早かった。「大房」が11月22日で、平年より3日早く、前年より3日遅かった。「田中」が11月5日で、平年より7日、前年より2日早かった。開花盛期は、「楠」が11月20日で、平年より6日、前年より2日早かった。「大房」が12月10日で、平年より7日早く、前年より4日遅かった。「田中」が11月24日で、平年より8日、前年より1日早かった。開花終期は、「楠」が12月8日で、平年より16日、前年より3日早かった。「大房」が1月1日で、平年より14日、前年より28日早かった。「田中」が12月12日で、平年より26日、前年より19日早かった。

花房の出蕾期は3品種とも平年並みであったが、10月の平均気温は平年並み、11月～12月の平均気温は平年より高い状態で推移したため、開花は平年より早く進んでいる。全体的に樹及び花房の生育は順調である。

表1 ビワの開花期(暖地園芸研究所)

品 種	開花始期 (月. 日)			開花盛期 (月. 日)			開花終期 (月. 日)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
楠	11. 2	11. 8	11.10	11.20	11.26	11.22	12. 8	12.24	12.11
大房	11.22	11.25	11.19	12.10	12.17	12. 6	1. 1	1.15	1.29
田中	11. 5	11.12	11. 7	11.24	12. 2	11.25	12.12	1. 7	12.31

平年：1991年～2020年の30年間の平均

【令和3年12月の気象】

令和3年12月の半旬別の気象を表2に示した。平均気温は第1～5半旬は平年より高く、第6半旬は平年よりも低かった。月平均気温は9.0℃で、平年より0.3℃、前年より0.6℃高かった。

氷点下日数は6日であった。最低極温は第1、第2、第5半旬は平年より高く、第3、第4、第6半旬は平年より低かった。

降水量は第1、第2、第4半旬は平年より多く、第3、第5、第6半旬は平年より少なかった。月合計は139mmで平年の144%であった。

日照時間は第1、第3、第4、第5半旬は平年より多く、第2半旬は少なく、第6半旬は平年並みであった。月合計は202時間で平年の123%、前年の129%であった。

表2 令和3年12月の気象(暖地園芸研究所)

半旬	平均気温 (℃)			氷点下日数 (日)			最低極温 (℃)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	11.7	10.6	8.9	0.0	0.1	0.0	4.8	3.8	4.1
2	10.1	9.4	10.4	0.0	0.0	0.0	4.6	2.4	4.0
3	9.6	8.9	9.3	0.0	0.3	0.0	1.3	2.0	0.6
4	8.5	8.1	5.3	2.0	0.3	3.0	-1.3	1.0	-2.0
5	9.5	8.3	8.9	0.0	0.5	1.0	3.4	0.9	-0.4
6	5.5	7.0	7.9	4.0	1.4	1.0	-2.0	-0.5	-0.4
平均/計/最小値	9.0	8.7	8.4	6.0	2.6	5.0	-2.0	-0.5	-2.0

半旬	降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
	42	29	0	39	25	8
	30	10	0	17	25	29
	2.5	16	0	37	26	21
	57.5	9	1	38	27	36
	6.5	12	1	37	28	34
	0.5	21	0	35	35	29
計	139	97	2	202	165	157

平年：1991～2020年の30年間の平均

最低極温：各半旬あるいは12月中に記録した最低気温

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

【2月の作業】

1月中旬～2月上旬は1年中で最も寒い時期である。本年の開花盛期は平年よりも早い
ため、寒害を受けるリスクは高いと考えられる。したがって、急な寒波には十分注意し、
必要に応じて、被覆資材で樹体を覆う、園内をヒーターにより加温する等の対策を行う。
ビワの根は2月中下旬には動き始めるので、苗木の定植は2月中に行う。

【苗木の植え付け】

ビワの苗木の植え付けは、発芽直前で根の活動が緩慢な2月中下旬が適期である。苗木
は根鉢を崩さないように土を付けた状態で移植すると植え傷みが少ない。移植に時間を
要する場合は、掘り上げ前に苗木の全ての葉を半切りしておく。

植穴は直径1～1.5m、深さ40～50cmの穴を掘り、穴の底に完熟堆肥を入れる。土の
埋め戻しは土が落ち着くときの沈下を見込んで地表面から30～50cm高く盛り土する。
定植後は苗に支柱を添え、十分にかん水した後、盛り土が乾かないように敷きわらをして
おく。

【がんしゅ病の予防散布】

がんしゅ病は一度発生すると防除が難しいため、感染防止を目的として、春枝の新葉
展開期の3月上中旬に薬剤散布を行う。薬剤散布は幹、枝及び葉に薬液が十分付着する
ように行う。薬剤散布に当たっては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針に従う。

【問合せ先：千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室

電話 0470-22-2961】

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>